

* 用意するもの：筆記用具、ノート、PC

【めあて 目指せ！歴史博士】

- ① PCで「出陣！歴史ワールド」と入力し、B5の紙を半分におり、はさみで切ります。
- ② B5の半分の大きさを使って新聞づくりを行います。
- ③ 新聞づくりのポイント（この5つのポイントをおさえるように心がけましょう。）
 - 見出し
→見出しは小単元のタイトルをそのまま活用しましょう。
 - 何を読み手に伝えたいか
→小単元で学んだことや驚いたことを3つ程度にまとめましょう。
 - 色使い
→見やすくするための色使いを意識しよう。
 - すきまの使い方
→すきまを効果的に活用しよう！ すきまの上手な活用こそが新聞作りの上達への道です！
 - 何を学んだか
→1 初めの段階での自分の予想や考え。
2 人々の工夫や努力について知り、それに対しての自分の考え。
3 驚いたことや疑問に思ったことやもっと知りたくなったこと。
4 第5学年は5行程度、第6学年は6行程度を目安にしましょう。

新聞づくりはお弁当箱と似ています。

具材、いろどり、バランス、遊びごころ等を工夫し、自分だけのオリジナルの新聞づくりに挑戦してみましよう。

お手本

聖武天皇と奈良の大仏

大仏の作り方

①木で骨組みを作り、その上に粘土をぬり固めて原型を作りかんそうさせる。



②原型の上に粘土をぬって型を取り、外型を作る。外型がかんそうしたら分解して外す。



③原型を一定の厚みでけずる。その後に外型を元の位置にもどすとすき間ができる。



④すき間にとかした銅を流しこむ。大仏を8段に分け、下から順にこの作業を行う。



⑤1段鑄るごとに土を盛り上げ、次の段の足場を作る。



⑥土の外側を取り除き、頭部に螺髪(髪の毛)を付けた後、全身に金箔をぬる。



聖武天皇

724年に聖武天皇が天皇の位につく。不安な世の中を仏教の力でしずめようと考え、都に東大寺を建てて大仏をつくり、国ごとに国分寺と国分尼寺を建てた。



行基

渡来人の家に生まれた行基は10代の半ばで僧になった。仏の道を読み、人々のために橋をかけた。道や用水路をつつたりしました。しかし、このころ朝廷は僧の一般民衆への布教を禁じていたため、行基をばっしました。しかし行基のもとに集まってくる人々は後をたらずでした。そこで聖武天皇は、大仏づくりへの協力を求めた。

学習のまとめ
聖武天皇は、不安な世の中を仏教の力でしずめようと考え、都に東大寺を建てて大仏を大り、国ごとに国分寺と国分尼寺を建てた。